



つむぎ



鳥取神社祭コミスク授業 今年もお神輿頑張りました

地域の方のあたたかさを身近で感じられる良い機会でした

9月14・15日に行われた鳥取神社祭の子ども神輿渡御みこしときよに今年もコミスク授業いっかんの一環として5・6年生の児童が参加しました。初日は6年生。昨年も参加している事もあり、堂々とした足取りと、元気な掛け声ですぐにペースをつかみ、沿道の声援にもしっかりと笑顔で手を振って応えていました。また、鳥取小学校の前ではたくさんの先生達が待ってくださり、みんな大喜び。立派にお神輿を担ぐ姿を見ていただく事ができました。無事に終了地点まで到着し、お神輿は2日目の5年生へとバトンタッチ。

初めてのお神輿を担ぐ5年生は、出発前に地域の方達が作ってくださった豚汁やおにぎりをいただき、掛け声の練習をして準備万端！はじめのうちは緊張している様子でしたが、慣れてくると自然と声もたくさん出るようになり、笑顔も増えていきました。お昼場所では、お出迎えの方達に「わっしょい！」とお神輿の胴上げを披露する場面もあり、とても盛り上がりました。5年生も元気に最後まで担ぎ終え、終了場所で行われた餅まきでお土産を手にしてから岐路につきました。両日とも無事に終わったばかりではなく、高い降水確率が出ていたにもかかわらず、ほとんど雨に当たりませんでした。これもお祭りの力なのか、子ども達の力なのか、みんながお天気に感謝しました。

さらに、休憩所でお世話をしてくださる方や、沿道で声援を送ってくださる方の多さに、地域の方のあたたかさや、お祭りに参加している事を実感していました。また、普段絶対に歩くことが出来ない車道を歩いたりした事も貴重な体験となり、まさに地域の事を知り、地域に貢献した授業となったと思います。本当にみんな頑張りました！

お祭りに参加された子どもや先生、地域の皆様をはじめ、お子様の応援やお迎えをしていただいた保護者や関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。来年もぜひ続けていただきたいと思います。



6年生



5年生



最後の餅まきの様子

3年生 地域を学ぶ学習 地域のお店にも行きます

9月22日の3年生の道徳の授業では、「あいさつ運動に参加している地域の方にお話を聞く」という事で、交通指導員と見守り隊をなさっている、佐藤みつおさん、五戸てるふささんに来ていただき、運動をはじめたきっかけや思い、苦労した事や嬉しかったことなどを聞きました。子ども達はあらためてあいさつを通して地域の方とふれあう事の大切さを学びました。また、国語では地域の仕事を調べる為、「鳥取神社」「エネオス鳥取大通店」「丹頂湯」「鳥取郵便局」「日本製紙アイスアリーナ」「鳥取東屋分店」「甘善餅店」「びっくりドンキー十條店」にグループで分かれてお伺いする予定です。普段見る事のできない仕事がたくさんあり、子供達もとても楽しみにしています。

